

2014 年度（対象年度：2013） 自己点検・評価シート【大学全体の視点】

基準 7	教育研究等環境
------	---------

I. 自己点検・評価

1. 点検・評価項目等に基づく状況確認 《評価形式》

自己評価欄に「A：適切に実行している」「B：概ね実行している」「C：あまり実行していない」「D：実行していない」の4段階で記入してください。

項目 No.	評価項目	点検項目	自己評価	
			個別	総合
704	教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。	①教育課程の特徴、学生数、教育方法に応じた施設・設備の充実を図っていますか。	B	B
		②TA等の教育支援体制の整備について充実を図っていますか。【※どのように】	B	

2. 現状説明 《記述形式》

対象年度における取り組みを、点検・評価項目の観点から、改善状況を含め総括してわかりやすく説明してください。点検項目欄【※どのように】と記載のある項目は、取り組み内容を具体的に、記述してください。 ①「教育研究等に係る施設設備に関する整備方針」に基づき、教育課程の特徴や、学生数等に応じた施設・設備の充実を図っている。深草学舎では、深草キャンパス新1号館施設検討委員会を通じて、2015年度の国際文化学部の移転を見据え、管理課と連携して今後必要となる機能の整備に向けて取り組んでいる。また包括的な学生支援体制検討委員会の下に設置されたコモンズ検討委員会では、設置予定の龍谷大学ラーニングコモンズ<仮称>について審議を行った。 瀬田学舎では、瀬田キャンパス施設検討委員会を通じて、2015年度に設置予定の農学部の教学展開を見据え、瀬田事務局と連携して今後必要となる機能の整備に向けて取り組んでいる。 また、学生の授業時間外の時間を活用した学修施設として、深草学舎に Learning Crossroads を、瀬田学舎にライティングセンターを設置して、教育環境の整備を行っているが、それらを設置したことによる教育的効果については十分検証できていない。 ②「教育補助員・TA・チューター制度の運用ガイドライン」を整備し、これに基づき、教育上必要とされる教育補助員・TAを適切に雇用している。
[改善すべき点の確認] 前回の点検・評価で、自ら「改善すべき点」と掲げた事項や、評価結果で「改善すべき点（【改善勧告】【努力課題】【留意点】）」とされた事項があれば、この欄に箇条書きで記載してください。 （自ら「改善すべき点」と掲げた事項） 特になし （評価結果） ・新1号館周辺に展開するラーニングコモンズや学修支援の充実にともない、院生のみならず学部生の教育支援への参画が急激に増加することが予想される。教育補助員・TA・チューター制度についても、ガイドライン策定時に比して教育支援のあり方は変化しているので、役割や報酬等について、他大学を調査し、見直すことも必要であるとする。【留意点】

3. 効果が上がっている点とその伸長方策 《箇条書き》

現状説明を踏まえ、効果が上がっている事項（特色ある取り組みや成果創出など）とその伸長方策を記述してください。 特になし

4. 改善すべき点とその改善方策 《箇条書き》

現状説明を踏まえ、改善すべき事項とその改善方策を記述してください。
特になし

5. 根拠資料 《リスト形式》

項目 No.	根拠資料の名称
704	教育補助員・TA・チューター制度の運用ガイドラインについて

II. 評価結果

総評
龍谷大学ラーニングコモンズや学修支援の充実にもない、院生のみならず学部生の教育支援への参画が急激に増加することが予想される。教育補助員・TA・チューター制度についても、ガイドライン策定時に比して教育支援のあり方は変化しているので、役割や報酬等について、他大学を調査し、検討し直すことが必要である。 また、教育環境整備のために設置された Learning Crossroads とライティングセンターについて、教育効果に関する検証を行って頂きたい。 認証評価結果において「教員の教育・研究の環境整備に関する方針は、策定されていないので、方針を定めるとともに明示することが望まれる。」と助言があったことに對し、対応する必要があると思われるので検討願いたい。
伸長すべき点(長所) 《箇条書き》
改善すべき点 《箇条書き》 * 各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載
・教育補助員・TA・チューター制度についても、ガイドライン策定時に比して教育支援のあり方は変化しているので、役割や報酬等について、他大学を調査し、検討し直すことが必要である。【留意点】 ・教育環境整備のために設置された Learning Crossroads とライティングセンターについて、教育効果に関する検証を行って頂きたい。【留意点】 ・教員の教育・研究の環境整備に関する方針は策定されていないので、方針を定めるとともに明示する必要がある。【留意点】
※【改善勧告】【努力課題】は、改善計画書の提出が必要

III. 大学基準協会からの助言について

助言内容
【認証評価結果 課題】 1) 教員の教育・研究の環境整備に関する方針は、策定されていないので、方針を定めるとともに明示することが望まれる。